

第72回全国博物館大会開催について（予告）

今年度の全国博物館大会は以下の予定で長野県松本市にて開催いたします。詳細につきましては、8月25日発送の「博物館研究」9月号同梱の書類でご案内の予定ですが、ここでは、現時点で決定している内容等についてご案内申し上げます。

多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

1. 日 時：令和6年11月27日（水）～29日（金）（3日間）
2. 主会場：まつもと市民芸術館 主ホール（〒390-0815 長野県松本市深志3丁目10-1）
3. テーマ：「文化観光と博物館～文化の魅力を伝えるために博物館ができること～」
4. 初日開始時間（予定）
12時00分～ 受付・開場
13時00分～ 第72回全国博物館大会開会式
5. 内容（予定）

【基調講演】

「文化財・博物館と文化観光」（仮題） 講師：坂井秀弥 氏（新潟市歴史博物館長）

【全国博物館フォーラム】

内容：大会テーマである博物館と文化観光を中心に、改正博物館法で示された方向性を再確認しつつ、長野県の博物館の特色や概況、松本市の取組みを共有し、今後、地域の未来に向けて取組むべき博物館のあり方について協議します。

【分科会①】「地域の魅力発見～文化資源の高付加価値化の取組み」

内容：文化観光の施策の1つとして、文化資源の高付加価値化の取組みが挙げられます。この分科会では、地域に引き継がれてきた文化資源の価値や魅力を再発見し、価値が顕在化されている文化資源との関連をストーリーで結ぶといった、文化資源の高付加価値化による魅力向上の手法について報告します。

【分科会②】「市民参加のしくみ～元気な市民がまちを活性化させる～」

内容：文化観光がこれまでの観光と違うのは、ただ見るだけではなく文化資源に関わる体験活動を重視していることです。来訪者が訪れた土地でそこに暮らす人々の生活習慣に触れることで、文化の理解が深まります。この分科会では、地域の住民がその土地の文化を理解し、積極的に情報発信する博物館活動の事例を報告します。

【分科会③】「つながる文化財～博物館の手法をフィールドへ～」

内容：地域の文化財の活用も博物館の重要な役割です。昨今は、フィールドミュージアムのような博物館の手法を館外にあてはめた活動が広まり、文化財をこれまでのように個々の点で見るとはならず、その周辺環境を含めた面で評価し、その意義を継承して活用していく取組みが見られますが、長野県はこうした活動の先進地でもあります。この分科会では、博物館が住民や他の機関と連携し、重要伝統的建造物群保存地区や文化的景観、無形民俗文化財といった、環境と共に継承される地域の魅力について報告します。

【シンポジウム】

分科会の議論を総括し、各分科会のコーディネーターが発表します。

【エクスカージョン】

長野県内の博物館を中心に3コースで実施する方向で調整中です。

6. その他

諸事情により計画の一部を変更する可能性があります。

大会の詳細は「博物館研究」9月号同梱の書類にてご案内いたします。